

2022年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年3月14日

上場会社名 VALUENEX株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4422 URL <http://www.valuenex.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 中村 達生
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO (氏名) 鮫島 正明 TEL 03 (6902) 9833
 四半期報告書提出予定日 2022年3月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年7月期第2四半期の連結業績（2021年8月1日～2022年1月31日）

（1）連結経営成績（累計） （%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年7月期第2四半期	297	72.5	9	-	22	-	21	-
2021年7月期第2四半期	172	△36.8	△161	-	△151	-	△150	-

（注）包括利益 2022年7月期第2四半期 24百万円（-%） 2021年7月期第2四半期 △150百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年7月期第2四半期	7.62	7.41
2021年7月期第2四半期	△53.41	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年7月期第2四半期	845	713	84.0
2021年7月期	840	686	81.4

（参考）自己資本 2022年7月期第2四半期 711百万円 2021年7月期 683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年7月期	-	0.00	-	-	-
2022年7月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年7月期の連結業績予想（2021年8月1日～2022年7月31日）

2022年7月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であると判断したため記載しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年7月期2Q	2,889,300株	2021年7月期	2,882,100株
② 期末自己株式数	2022年7月期2Q	54,000株	2021年7月期	54,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年7月期2Q	2,829,453株	2021年7月期2Q	2,822,821株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は同日にTDnetで開示及び当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「世界に氾濫する情報から”知”を創造していく」ことをミッションとし、他に類のない自然言語処理・類似性評価・2次元可視化・指標化等の技術により、さまざまな文書情報を用いた各種の解析サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中で、ワクチン接種の推進や各種の経済施策により、国内外で社会経済活動が回復に向かうことが期待されております。しかしながら、変異株による感染の再拡大もあり、新型コロナウイルス感染症の拡大状況の変化による世界的な景気下振れリスクに対する十分な注意は引き続き必要であり、依然として先行きは不透明であります。

このような環境の下、当社グループは、引き続き国内及び海外におけるコンサルティングサービス及びASPサービスのさらなる販売拡大に取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は残っているものの、新規案件の受注は国内のコンサルティングサービスを中心に前期に比べ改善してまいりました。また、開発等で必要な人材の採用を行いまして、採用は3名となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は297,780千円（前年同期比72.5%増）、営業利益は9,232千円（前年同期は営業損失161,320千円）、経常利益は22,146千円（前年同期は経常損失151,005千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21,570千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失150,778千円）となりました。

なお、当社グループはアルゴリズム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

主なサービス別の状況は以下のとおりであります。

(a) コンサルティングサービス

当第2四半期連結累計期間におけるコンサルティングサービスの売上高は、158,663千円（前年同期比230.6%増）でありました。

(b) ASPサービス

当第2四半期連結累計期間におけるASPサービスの売上高は、134,161千円（前年同期比8.1%増）でありました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は769,677千円となり、前連結会計年度末に比べ14,969千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が13,488千円減少し、売掛金が19,267千円、仕掛品が7,370千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は76,284千円となり、前連結会計年度末に比べ9,039千円減少いたしました。これは主に本社オフィスの一部解約により敷金保証金等が減少した結果、投資その他の資産が6,125千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,930千円増加し、845,961千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は131,312千円となり、前連結会計年度末に比べ9,451千円減少いたしました。これは主に前受金が2,779千円、1年内返済予定の長期借入金が1,311千円、その他の流動負債が6,526千円減少し、未払法人税等が1,590千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は756千円となり、前連結会計年度末に比べ11,659千円減少いたしました。これは主に長期借入金が11,508千円減少したことによるものであります。

この結果、負債の残高は、前連結会計年度末に比べ21,110千円減少し、132,068千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は713,893千円となり、前連結会計年度末に比べ27,041千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が21,570千円計上されたことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて13,488千円減少し、694,730千円となりました。当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における営業活動の結果、支出した資金は25,387千円（前年同期は194,520千円の支出）となりました。これは主に売上債権の増加18,952千円、棚卸資産の増加7,331千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における投資活動の結果、取得した資金は7,701千円（前年同期は611千円の支出）になりました。これは本社オフィスの一部解約等による敷金の払い戻しによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末における財務活動の結果、取得した資金は1,722千円（前年同期は346千円の支出）となりました。これは新株予約権の行使による株式の発行による収入2,319千円とその他に含まれるリース債務の返済による支出596千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であると判断したため記載しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	708,219	694,730
売掛金	14,696	33,963
仕掛品	4,400	11,770
その他	27,391	29,212
流動資産合計	754,707	769,677
固定資産		
有形固定資産	56,417	53,503
投資その他の資産	28,905	22,780
固定資産合計	85,323	76,284
資産合計	840,031	845,961
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,614	4,569
1年内返済予定の長期借入金	1,311	-
リース債務	814	435
前受金	102,948	100,168
未払法人税等	3,007	4,597
その他	28,068	21,541
流動負債合計	140,763	131,312
固定負債		
長期借入金	11,508	-
リース債務	906	689
その他	-	66
固定負債合計	12,415	756
負債合計	153,179	132,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,273	531,458
資本剰余金	543,442	544,627
利益剰余金	△359,763	△338,193
自己株式	△22,500	△22,500
株主資本合計	691,451	715,391
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△7,523	△4,371
その他の包括利益累計額合計	△7,523	△4,371
新株予約権	2,924	2,873
純資産合計	686,852	713,893
負債純資産合計	840,031	845,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)
売上高	172,669	297,780
売上原価	46,465	59,975
売上総利益	126,203	237,804
販売費及び一般管理費	287,524	228,572
営業利益又は営業損失(△)	△161,320	9,232
営業外収益		
受取利息	5	3
助成金収入	10,351	13,356
その他	346	35
営業外収益合計	10,703	13,395
営業外費用		
支払利息	22	22
為替差損	366	459
営業外費用合計	388	482
経常利益又は経常損失(△)	△151,005	22,146
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△151,005	22,146
法人税、住民税及び事業税	△227	576
法人税等合計	△227	576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△150,778	21,570
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△150,778	21,570

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△150,778	21,570
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	17	3,152
その他の包括利益合計	17	3,152
四半期包括利益	△150,761	24,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△150,761	24,722

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△151,005	22,146
減価償却費	3,767	2,708
受取利息	△5	△3
助成金収入	△10,351	△13,356
支払利息	22	22
売上債権の増減額(△は増加)	24,453	△18,952
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,926	△7,331
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,282	△58
前受金の増減額(△は減少)	△33,005	△3,071
賞与引当金の増減額(△は減少)	△245	-
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△16,068	△3,129
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△4,135	△4,670
その他の固定資産の増減額(△は増加)	370	813
その他の固定負債の増減額(△は減少)	-	65
小計	△194,413	△24,816
利息の受取額	5	3
利息の支払額	△22	△22
助成金の受取額	871	332
法人税等の支払額	△961	△884
営業活動によるキャッシュ・フロー	△194,520	△25,387
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△611	-
敷金及び保証金の回収による収入	-	7,701
投資活動によるキャッシュ・フロー	△611	7,701
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	250	2,319
その他	△596	△596
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346	1,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	2,474
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△195,453	△13,488
現金及び現金同等物の期首残高	842,898	708,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	647,444	694,730

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、一部の取引において、従来は顧客から受領する対価の総額を収益として認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割りが代理人に該当する取引について、顧客から受領する対価から関連する原価を控除した純額、あるいは手数料の金額を収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高及び売上原価は906千円減少しておりますが、損益に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。